



特定非営利活動法人日本防災士会・富山県支部

# 富山県防災士会会報

第 16 号

平成 28 年 10 月 31 日  
 発行 富山県防災士会  
 連絡先 090-9762-8267  
 (事務局：佐伯)

## 平成 28 年度県市町村総合防災訓練 『8 自治体に延べ 70 数名が参加』

8 月 21 日の黒部市、射水市、氷見市を皮切りに、10 月 1 日の富山市まで、県内の 16 自治体(富山県と 15 市町村)のうち、8 自治体の総合防災訓練(8 市町会場)が開催され、延べ 70 数名の防災士会会員が参加した。

9 月 4 日(日)に開催された魚津市では、片貝地区の片貝公民館(旧片貝小学校)をメイン会場として、魚津断層帯を震源とする M7.3 の地震と前日からの豪雨で土砂災害が発生したとの想定で、約



魚津市防災訓練(片貝公民館) 富山県防災訓練(小矢部市会場)

600 人が参加し行われた。富山県防災士会の防災知識普及啓発ブースでは、魚津市内及び、近隣に在住の防災士(計 11 名)が、防災・災害パネル(熊本地震他)、家具転倒防止金具類、電源遮断装置、簡易トイレ等を展示、他に、寝室の家具固定に関するアンケート調査を実施。また、避難所などで使える「新聞紙によるスリッパ作り」体験コーナーでは、多くの地域住民や村椿魚津市長もチャレンジするなどして、地域との交流を図ることができた。寝室の家具固定アンケート調査は、固定している 10%、固定していない 60%、置いていない 30% の構成比率でした。



家具等の固定コーナー

今年度の総合防災訓練は、本年 4 月の熊本地震の震災対応を踏まえ、どの会場でも例年よりも真剣さが伝わる訓練の様子でした。また、砺波市、射水市、小矢部市では、防災士連絡協議会(市主導で組織された協議会)の皆さんがブースを設けるなど今まで以上に、積極的に参加されていました。(記 吉澤)

## 第 2 回例会 日本防災士会スキルアップ研修会 『大規模災害と避難所』

～内閣府避難所ガイドラインと熊本地震～

7 月 17 日(日)、富山県広域消防防災センターにおいて、NPO 日本防災士会 北信越支部連絡協議会主催の日本防災士会スキルアップ研修会が開催された。防災士 80 名(富山県参加者 44 名)が参加。福井県支部の黒川勲会長の開会挨拶、富山県防災・危機管理課の大木英文課長様の来賓挨拶のあと、日本防災士会常務理事 橋本茂氏の「大

規模災害と避難所～内閣府避難所ガイドラインと熊本地震～』についての講演と避難者受入準備や模擬運営委員会の開催などの実地訓練があった。

講演は、防災士は避難所運営を行う自主運営組織のアドバイザーであることを念頭に、ペット同行避難であって同居避難でないこと、トイレ対策が重要であること、自警団の必要性、福祉避難所の周知など多岐にわたるポイントについて事例を交えての講演でした。また、実地訓練では、避難所の生活ルールづくりや速やかな課題解決が求められる運営委員会の模擬訓練などがあった。



大木 富山県防災・危機管理課長 日本防災士会 橋本常務理事



富山県での開催は初めてでしたが、北信越地区のほかには北海道や高知県をはじめ 13 都道府県からの参加があり大変有意義な研修でした。また、会場準備や受付、駐車場整理などに当たられた富山県防災士会員の皆さん大変お疲れさまでした。(記 吉澤)

## 第 3 回女性防災士の集い 『災害ワークショップ』

10 月 15 日(土)婦中町ふれあい館において、本会女性防災士 7 名、非会員防災士 11 名の計 18 名と本会男性役員として会長以下 5 名で「第 3 回女性防災士の集い」が開催された。

第 1 部は防災啓発ワークショップ「クロスロードゲーム」を 4 つのグループに分かれて行い、参加者(非会員防災士)の殆どが初体験とあって興味深く取り組まれていた。各グループでは、「実際に予想される問題を想像することや、その時の判断の難しさがあったが、他の防災士の意見を聞くことができ大変よかった」「クロスロードを地元では是非やりたい」等々の声が聞かれ大変好評であった。



第 2 部では、大屋ますみ防災士の女性消防団の活動と地域防災の取り組みについての報告。下高暁子防災士の町内の女性部会を立ち上げ備蓄も考えるようになったことの報告やラジオ番組を通して啓発する機会があり、よい勉強になったとの感想があった。(記 小杉)

会 員  
自己紹介

高齢者(病弱・認知症等)や障がい者に対する防災活動(要支援者への支援活動)の必要性

防災士(射水市) 土代 正治

私は、病院(高齢者等の療養病床)に16年間勤務しています。5年前の東日本大震災の報道を見て他人ごととは思えず、自分が勤務する施設や地域で同様の地震が起きた場合は、どのように対応すれば良いか不安を感じていました。



その不安を持ちながら、2年前に富山県総合防災訓練に参加したところ、本会の野田防災士に私の背中を押して頂き、防災士養成講座を受講し防災士を取得しました。

これからは、災害時要援護者に対する情報の伝達、避難支援プラン、安否確認、福祉施設と地域住民との連携訓練などの支援活動を繰り返し行っていきたくと思っています。



本年5月には、射水市の障がい者施設で、要援護者名簿(本人同意が必要)への掲載の必要性や防災訓練へ参加することの重要性などについての防災支援活動を行いました=写真。

今後とも、防災士会の皆様方のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年度北信越支部連絡協議会総会

7月23日(土)平成28年度北信越支部連絡協議会総会が長岡震災アーカイブセンターきおくみらい(長岡市)で開催された。

総会は27年度担当の黒川勲氏(福井県支部長)の挨拶で始まり、来賓として日本防災士会浦野理事長が「熊本地震の現状と支部間の連携の重要性」等の挨拶をされた。議事では27年度の事業について審議に入り承認され、続いて28年度担当県の新潟県支部長西潟清二氏に引き継がれ、28年度の事業が審議され承認された。



総会後は、①「新潟県中越地震の記憶」シアター視聴、地震概要説明、震災マップ、iPadでの情報検索。②体験プログラムとして「地域における避難所運営を考える」「新潟県の取り組み」。③防災ワークショップ「私たちは何をすべきか」の三部構成の研修が行われ、大変有意義であった。4月に発生した熊本地震では、九州支部間の防災士が連携よく活動し、被災者住民に大変感謝されたと聞く。こうした機会を通して北信越支部の連携が一層深まることを期待したい。(記 小杉)

富山シティエフエム『防災コミュニティ』に出演

平成28年4月から、富山シティエフエム(コミュニティFM)ラジオ:FM77.7MHz、聴取可能エリア:富山市・射水市・滑川市・舟橋村・立山町・上市町の一部の「防災コミュニティ」(毎月1回月曜日14時30分から放送)に出演しています。防災の様々な視点から本会の防災士が防災啓発を行っています。是非ご聴講ください。(記 佐伯)



富山シティエフエム  
ナビゲーター 宮本聡美さん

平成28年4月から29年3月までの放送日

放送日(再放送日)	テーマ	出演防災士
4月4日(4月11日)	日頃からの備え	小杉 邦夫 佐伯 邦夫
5月2日(5月9日)	集中豪雨から身を守る	中川 勲 赤坂 清和
5月30日(6月6日)	土砂災害から身を守る	大坪 清治 古木 健二
6月27日(7月4日)	突然の地震に備える	野田 隆志 鈴木 茂信
7月25日(8月1日)	富山県の災害史	平木 利明 北川 勝
8月22日(8月29日)	防災訓練に参加しよう	荒永 誠治 島崎 定則
9月19日(9月26日)	気象災害から身を守る	堀内 昌樹
10月17日(10月24日)	備蓄品と非常持ち出し品	吉澤 実
11月14日(11月21日)	津波から身を守る	石黒 猛 川戸 真二

※12月以降の放送日等は調整中です。

富山県防災士会 賛助会員のご紹介

- ▶ 林建設株式会社(代表取締役 林茂様)7月29日加入
- ▶ 全労災富山県本部 8月19日加入  
ご支援ありがとうございました。

【事務局からのお知らせ】

◆平成28年度「研修会」

日時:12月10日(土)15:00~16:30  
場所:富山県民会館 704号室

講師:京都大学名誉教授 川崎一朗氏

演題:「2016熊本地震と富山」

川崎氏は元京都大学防災研究所にて地震学と固体地球物理学を研究されました。貴重なお話しが聞かれます。

◆講演終了後「懇親会」兼「忘年会」を開催します。

時間:17:00より

場所:旬彩料理「TAKU」

富山市桜町2丁目5-2 俳優座ビル

会費:6,000円(飲み放題)



◀編集後記▶

本年4月から障害者差別解消法が施行され、合理的配慮の提供が一層求められます。熊本地震でも、東北地方太平洋沖地震と同様に災害時要支援者への配慮不足が問題となったようです。我々の減災への活動にもこの「災害時の合理的配慮」について一層の焦点を当てなければいけませんね。(Y)